

令和7年度 5 月 定例教育委員会会議録

令和7年5月20日(火)

山梨市教育委員会

令和7年度5月 定例教育委員会 議事録

令和7年5月20日(火)午前10時から、山梨市役所503会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の承認
- 4 協議事項
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	竹川 和彦
教育長職務代理者	原 喜雄
教育委員	窪田 新治
教育委員	相沢 季里
教育委員	鈴木 徹
教育委員	織田 久美子

○欠席者

なし

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	久保川 貴教
学校教育担当 指導主事	齊藤 和裕
学校教育担当 指導主事	平山 直樹
学校総務担当 リーダー	小野 恵美
学校総務担当(議事録作成者)	望月 理香
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
学校給食センターリーダー	上野 治美

生涯学習課 課長

武井 学

生涯学習担当 リーダー

飯田 芽久美

4 協議事項

(1) 令和 8 年度県教育施策及び予算に関する要望書について

学校教育担当職員

資料1-1~3に基づき説明

鈴木委員

部活移行の補助金額が決まっているか。

山梨市として指導者謝礼・保険料等が決まっているのか。

生涯学習課長

補助金としてではなく、先行して行っている委託金として国・県からおよそ 2 分の 1 いただいている。

指導者に対する謝礼・参加者に対する保険料として使用して R7 年までとなっている。

R8 年度以降への要望を出していきたい。

教育長

国の行政説明においてスポーツ庁でも予算について考えている。

部活動地域展開について学校文化を変えていかなければならないことに対して国・他市町村も悩んでいる。

原委員

R6 年度の教員欠員状況について

教育長

山梨市は、加納岩小で欠員が生じている。

産休・育休代替教員の見つけることへの問題が課題である。

原委員

要望書で説明した○印とそれ以外の○印との違いについて

まだ◎には至らないという理解でよいか。

学校教育担当リーダー

ご指摘のとおり◎として強調するのではないが、山梨市が強く思っている要望として説明した。

窪田委員

部活動地域移行関連について、大会などへの引率・運営を教員に求められることにつ

いて先生方の負担がある。

コーチ・保護者だけで教員が付かなくてよい大会開催をしてほしい。

教育長

要望書の提出で説明する機会があれば伝えていきたい。

(2) その他

生涯学習課長

別紙「建議書」について説明

教育長

承認ということによろしいか。

教育委員

よろしい。

5 報告事項の内容

(1) 令和7年度美祢市・山梨市交流事業中止について

生涯学習課長

資料2に基づき説明

教育長

4月に美祢市教育長と直接お話しして確認している。

(2) LDX 事業キックオフ会議の還流報告について

学校教育担当職員

資料3に基づき説明

原委員

指定の期間について

学校教育担当指導主事

年度ごとの委託

山梨市は R5・R6・R7 年度と3回実施のため3校区全部制覇となった。

鈴木委員

この事業による成果について

タブレット活用により会話の機会が減っているのではないか。

学校教育担当指導主事

今までは、授業では積極的に発言できる児童生徒の意見が主となっていたが、タブレットの匿名回答になってからはいろいろな意見が出るようになり広い気づきとなった。また、タブレット回答を情報のツールとし、意見について話し合いの場を作ったり、発表したりして活用している。

鈴木委員

プレゼン・資料作成は社会に出て必要なものとしてリンクしてきている。

アナログとデジタルの良さを補いながら進めていけるとよい。

窪田委員

子どもたちに生成 AI をどう使っていくか考えていったほうがよい。

相沢委員

高等学校では「学校設置科目」があり、学校の特色を出すことができる。

「柔軟な教育課程」は山梨市にとってチャンスとなるので山梨市全体としての設定になるのかもしれないが設定科目をやってはどうか。

(3) 教育ファーム (ECHOES 学習) 圃場確保進捗について

学校教育担当リーダー

資料4に基づき説明

原委員

教育ファームは目的に沿って各学校が成果を上げ、子どもたちは参加により体験的学習ができている。

畑が、道路を渡ったり、バスで15分かかる場所にあたりすると危険性や負担になると思うので学校と相談しながら決めていってほしい。

学校教育担当リーダー

来年度に向けて意見を大切に、学校との連絡調整を図っていきたい。

(4) その他

生涯学習課長

社会体育施設の安全点検について

6 連絡事項

(1) 市制 20 周年記念事業一覧について

生涯学習課長

市制 20 周年記念事業「ラジオ体操」について説明

教育長

事業案内はチラシ・広報・ホームページ等から発信する。

(2) 学校訪問について

学校総務担当リーダー

日程等について説明

原委員

服装はクールビズ対応でよいか。

学校総務担当リーダー

そのとおりである。

(3) いじめ・生活アンケートの実施について

学校教育担当指導主事

資料7-1~4に基づき説明

原委員

認知件数・継続案件数・重大案件数について

記名式アンケートは、重大なこと・自分のことを申し出ない場合が多い点に注意してほしい。

アンケートの活用方法について%表記ではなく、件数表記してほしい。

学校教育担当指導主事

アンケート活用方法は、資料全体を保護者に公表している。

教育長

認知件数は、R5年年度末・・・347件、R6年度末・・・283件

継続案件は、51件

減少してきている。今後も慎重に対応していきたい。

鈴木委員

このアンケートはずっと同じものを使用しているのか。

学校教育担当指導主事

同じものを使用している。

鈴木委員

重大なことは自分から言わない。このアンケートは自分のことについての内容が多く、誰かがいじめられていることを報告する項目がない。県から示されているものと思うので何か機会があればお伝えいただきたい。

教育長

貴重なご意見を参考に取り組みの充実を図っていければと思う。

(4) 教育委員の予定について

学校総務担当リーダー

資料8-1~2に基づき説明

その他事業について説明

(5) 山梨市議会 6 月定例会日程について

学校総務担当リーダー

日程について説明

(6) 教育委員会日程について

学校総務担当リーダー

日程について説明

(7) その他

生涯学習課長

別紙「山梨市部活動地域展開」について説明

教育長

教員の負担もかかわってくることである。

国では、R8.9.10 を第1期として、中間評価を行い R11.12.13 で評価に基づいて予算を付けてやっていく方向である。

市民等の理解を得ながら、慎重にかつスピーディーに進められるようにしていくことが必要。

窪田委員

昔は毎日やることに疑いも持たず、保護者も子どもも理解してやってきていたが、本当に毎日やる必要があるのか。

峡東地域は部活動に全員所属になっているが、本当に必要なのか。

今までの部活動に対する保護者・子どもの意識を変えていく必要があるのではないか。

原委員

同意見

鈴木委員

休日の地域クラブ活動にボランティアが入っていることがよい。

スポーツはプレイヤーだけではなく、支える側のことも考えていくことが必要。

教育長

委員会からもご意見をいただき、随時説明をさせていただく。

学校教育課長

窪田委員任期終了について

教育長

以上で議事を終了する。